

# (仮称)第2期大分市消防団ビジョン(案)に対する市民意見の概要と本市の考え方

意見募集期間 令和7年12月12日(金)～令和8年1月13日(火)

意見提出者数 4人

意見件数 4件

No.	意見の概要	意見に対する本市の考え方
1	<p>本市に居住または勤務する外国人の地域防災への参加を促進することは、自助および共助の観点から重要であると考えます。具体的には、初期消火の方法や119番通報の仕方、周囲に火災を知らせる際に必要となる最低限の言葉（「消火器」「119」「火事」など）を分かりやすく伝える取組が有効であると考えます。</p> <p>また、外国人を対象とした救命講習への参加を促し、イラスト等を活用して心肺蘇生法など基本的な応急手当を理解しやすく伝えることや、必要に応じて携帯アプリを活用することも効果的であると考えます。</p> <p>併せて、地域の防災活動などの場において積極的に声掛けを行うことで、消防団への入団につながる可能性があるため、外国人を含めた多様な人材の確保に寄与するものと考えます。</p>	<p>本市に居住または勤務している外国人の地域防災への参加については、外国人に限らず、自助（自らの命を守る）、共助（地域住民と助け合う）という考え方を持ち、日頃から防災訓練などに参加し、災害に備えておくことで、地域防災力の向上に資するものと認識しております。</p> <p>ご提案いただきました、イラストなどを用いた外国人への訓練手法につきましては、防火・防災の啓発活動を行う際の参考とさせていただきます。</p> <p>また、さまざまな機会を捉え、消防団員の確保に努めてまいります。</p> <p>貴重なご意見、ありがとうございます。</p>
2	<p>現在、少子高齢化の進展により消防団員数の減少や高齢化が進んでいるほか、自主防災組織、防災士、消防団の間における役割分担や連携体制の構築が十分とは言えず、防災資源の重複や非効率を感じていると感じています。また、消防団詰所や消防車両の老朽化に加え、地震や津波などの大規模災害に対する対応力の面でも課題があると考えます。</p> <p>これらを踏まえ、新たな消防団ビジョンの策定にあたっては、旧村単位で構成されている消防団組織を、少なくとも小学校区単位へ再編することや、自主防災組織との連携を体系的に整理・強化することが必要ではないでしょうか。併せて、働き方改革や新たな世代の価値観に対応した消防団活動の在り方を検討し、時代に即した組織運営や活動の近代化を進めていくことが重要であると考えます。</p>	<p>少子高齢化の進展や人口減少などによる消防団員数の減少、自主防災組織間の役割分担や連携体制、大規模災害への対応力の強化などの課題につきましては、本市としても重要な課題であると認識しております。</p> <p>また、消防団組織の再編や自主防災組織との連携・強化、働き方改革に応じた消防団活動の見直しに関するご提案につきましては、第2期大分市消防団ビジョンの取組において参考とさせていただきます。</p> <p>貴重なご意見、ありがとうございます。</p>

3	<p>佐賀関の火事を通じて、消防職員のみならず消防団員の方々が活躍している場面を拝見ました。</p> <p>消防団の方の中には日中別の仕事をされていらっしゃる人も居ると思います。訓練時間があまり無い中でも、的確に消火活動されており、消防署との連携も取れていたように思います。その結果、人的被害が最小限に抑えられたことは、素晴らしい避難誘導や消火活動であったと思います。</p> <p>今後、少子高齢化の進展に伴い、消防団員の平均年齢も高くなっているのでは無いでしょうか。若い世代が参加しやすい仕組みづくりや入団促進に向けた取組が重要であると考えます。</p>	<p>貴重なご意見、ありがとうございます。</p> <p>令和7年11月18日に佐賀関において発生した火災につきましては、これまでにない規模の火災であったことから、本ビジョンへの掲載を検討しております。</p> <p>本市におきましても、人口減少や少子高齢化の進展に伴い、消防団員の確保が課題と認識しており、本消防団ビジョンにおいて、組織の活性化や活動しやすい環境づくりなどに取り組むとともに、消防団の充実・強化に努めてまいります。</p>
4	<p>第2期大分市消防団ビジョン(案)を拝見し、消防団の現状や課題を丁寧に整理したうえで、今後の方向性が分かりやすく示されていると感じました。</p> <p>特に、女性消防団員の活躍推進や、消防団員の負担軽減、地域との連携強化に取り組もうとする姿勢に共感しました。</p> <p>また、子育てや仕事と両立しながらでも関わりやすい消防団を目指している点は、これからの時代に合った考え方だと思います。</p> <p>本ビジョンを通じて、消防団がより身近で親しみやすい存在となり、地域防災力の向上につながることを期待しています。</p>	<p>貴重なご意見、ありがとうございます。</p> <p>消防団員の確保に取り組むとともに、消防団が地域に根付き市民に「消防団があってよかった」と感じられ、消防団員が任期を終えたときに「やってよかった」と感じられることができるよう、「地域に親しまれ、活力ある消防団」を目指します。</p>